

(一社) 熊本鍼灸マ第 29 号

平成 28 年 9 月 30 日

株式会社チュウオー  
代表取締役 今里 秀俊 様

(一社) 熊本県鍼灸マッサー

会長 高橋

860-0844 熊本市中央区水道町

TEL 096-356-7609



「2016 熊本地震」災害支援鍼灸マッサージ活動の  
ご支援に対するお礼について

拝啓 涼月の候 貴職におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度は熊本地震における災害支援鍼灸マッサージ活動に、ご支援をいただきまして誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

熊本地震から 5 か月半が経過しようとしています。

余震（体を感じる震度 1 以上の地震）も少なくなってきていますが、9 月 28 日（水）の時点で 2,118 回を数えます。

熊本市においては、ほぼライフラインは正常に機能し、地震前の活気を取り戻しつつあります。

しかし、震源の中心であった益城町や近隣の区町村は復旧がいつになるやらわからないような状態の場所もあります。

地震後は、我々も被災者ですが、この時期に医療系の資格者として必要ある行動をとることの意義を考え、DMAT(災害時派遣医療チーム)の多職種連携としての医療救護班登録をして、ケア活動を 4 月 19 日より行いました。

DMAT が緊急医療の必要性が少なくなったと撤収した 5 月 8 日までに、延べ 230 人ほどの協力者の下、熊本市、益城町、御船町、西原村、南阿蘇村、宇城市で 1,100 人を超える被災者の方々にケア活動を行いました。

その後は、熊本市東区の拠点避難所に指定されている熊本市立総合体育館で毎週火曜日の午前中と木曜日の午後に、そして、協力者が集まれば土日にも師会のボランティア活動として続けてまいりましたが、9月15日をもって拠点避難所は閉鎖となりました。

その約40日間に、利用者446名、施術者80名、補助者20名の実績を作ることができました。(9割以上の方が鍼治療を受けられています。)

現在、避難所生活をされていた方々は、仮設住宅・仮設団地へ移動されている状況ですが、まだまだ肉体的・精神的・経済的にも疲弊されています。

今後も必要ある限り、活動を続けていく所存です。

長い活動になっていくことと思いますが、今後ともよろしくご指導のほどお願い申し上げます。

貸出していただきました電池式温灸器「ばんしん」は、火気を使用できない施設においてお灸に代わる熱刺激の器具として、施術に大変役に立ちました。

今後の活動についても継続して貸し出しを頂ければ有り難く存じます。

拝眉の上、ご挨拶を致さねばならないところですが、略儀ながら書面を以て、御礼の挨拶に代えさせていただきます。

最後に、貴社の今後の益々のご隆昌を祈念申し上げます。

敬具